

03/04・「中国は唯一の競争相手」 米が安保戦略指針 (3日) 「米が国際規範主導」 <1>

米国務長官は初の外交演説 「中国、地政学的な試練」

- ・英、大企業法人税率上げ 23年に25% コロナで財政悪化

03/05・米軍が対中ミサイル網 アジアに 6年で2.9兆円要望 日比と協力焦点 <2>

日本側は歓迎、負担増も

- ・金利上昇「不安材料に」 FRB議長、長期緩和は継続強調
- ・原油原産、来月も維持 OPECプラス NY市場1年2ヶ月ぶり高値
- ・中国、6%以上成長目標 全人代開幕 雇用回復が課題 香港干渉「断固反対」

03/06・緊急事態宣言、再延長を決定 1都3県、21日まで

- ・米金利高、株安・ドル高招く 動かぬ中銀、じれる市場 対ドル一時108円台に  
米ハイテク株乱高下 ナスダック「調整局面」入り迫る
- ・米EU、報復関税停止 4ヶ月、航空機紛争巡り
- ・英金融、取引シェア急落 欧州株半減 EU離脱でマネー移動 <3>

03/07・国有企業重視、中国一段と 全人代報告 米制裁に対抗狙う 経済成長妨げる恐れ

ハイテクなど民営50社を参加に

03/08・経常黒字1月2.3%減 海外子会社の配当減 <4>

03/10・半導体、EUも脱海外依存 域内増産 シェア2割めざす <5>

次世代半導体、日本後手に 経済安保上の戦略物資 主要産業にリスク

03/11・米、200兆円対策成立へ バイデン政権、成果急ぐ <6>

03/12・日米豪印、レアアース連携 脱中国依存 調達網を再構築

- ・全人代開幕 李首相「米中、互いに内政不干渉を」 対話も呼びかけ

03/13・日米豪印、対中国で結束 初の首脳協議 (12日) 経済・安保両にらみ <7>

インド取り込み、米が主導 年内に対面で会談

ワクチン協力、インド製増産、10億回分 南シナ海・東シナ海、中国けん制

- ・米、対中で日本重視 4月前半に初の対面首脳会談へ
- ・英、対EU輸出38%減 1月 完全離脱で減少幅拡大 輸入も16%減

<1>

国家安全保障戦略（暫定版）のポイント
・中国は国際秩序に挑戦する唯一の競争相手
・米軍をインド太平洋地域と欧州に重点配備
・中国との戦略的競争は国益にかなう場合の協力を妨げるものではない
・米国が国際機関での指導的地位を早急に取り戻す

<2>



<3>

アムステルダムが首位に急浮上した  
(欧州の株式売買代金シェア上位)

2020年12月		21年1月	
1	ロンドン 43.5%	1	アムステルダム 23.2%
2	フランクフルト 13.9%	2	ロンドン 21.7%
3	パリ 11.7%	3	パリ 15.2%
4	アムステルダム 6.6%	4	フランクフルト 14.7%
5	ミラノ 6.5%	5	ミラノ 6.7%

(注) CBOEヨーロッパの集計データから作成

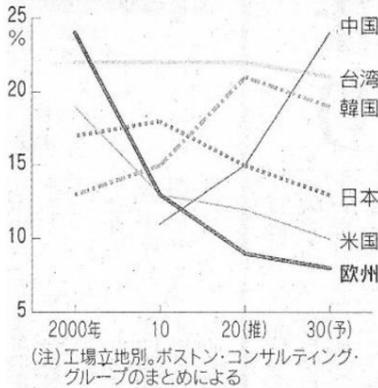
<4>

2021年1月の国際収支  
(単位億円、カッコ内は前年同月比%、▲は赤字または減少)

▽経常収支	6,468
貿易・サービス収支	▲6,111
貿易収支	▲1,301
輸出	56,916
	(2.7)
輸入	58,217
	(▲10.9)
サービス収支	▲4,809
旅行収支	250
知的財産権等使用料	▲675
第1次所得収支	14,666
第2次所得収支	▲2,088
▽資本移転等収支	▲132
▽金融収支	9,201
▽誤差脱漏	2,865

<5>

半導体生産能力で欧州はシェア低下が続いてきた



<6>

追加対策は家計支援が中心だ	
現金給付 (4000億ドル)	1人あたり最大1400ドルを支給。年収8万ドル以上は対象外
失業給付 (2500億ドル)	州政府による支給分に加え、連邦政府が週300ドルを加算
コロナ対策 (4000億ドル)	ワクチン普及や検査に660億ドル。教育分野などにも資金を充当
その他 (8500億ドル)	中小企業に500億ドル。州・地方政府に3500億ドルを財政支援

(注) 金額は推計

<7>

菅首相発言の骨子
年内に対面で4カ国首脳会談を開催
途上国への新型コロナワクチン支援で一致
中国による現状変更の試みに強く反対
「自由で開かれたインド太平洋」でASEANと連携